

橋の長寿命化修繕計画



(鹿島橋：平成19年3月竣工 橋長202m)

令和 8年 3月

富士川町 土木整備課

目次

1. 管理橋梁の現状とこれまでの長寿命化対策	1
1) 背景	1
2) 目的	2
2. 長寿命化修繕計画の対象となる橋	3
1) 対象となる橋の選定方針	3
2) 対象となる橋の数	3
3) 対象となる橋の例	3
3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針	4
1) 健全度の把握に関する基本的な方針	4
2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針	4
4. 対象となる橋の長寿命化及び架替え・修繕に係る	
費用の縮減に関する基本的な方針	5
1) 架替え・修繕の違いについて	5
2) 橋の長寿命化及び架替え・修繕に係る	
費用の縮減に関する基本的な方針	6
3) 新技術等の活用方針	7
4) 費用の縮減に関する具体的な方針	10
5. 対象となる橋の耐震補強に関する基本的な方針	12
6. 長寿命化修繕計画による実績	13
7. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期	
及び修繕内容・時期又は架替え時期	14
8. 長寿命化修繕計画による効果	18
9. 計画策定担当部署	18
10. 町民の皆様へのお願い	18

1. 管理橋梁の現状とこれまでの長寿命化対策

橋梁の耐用年数は、50年～60年と言われている中、本町においても高度経済成長期に整備された橋梁の半数以上が今後10年以内に耐用年数を迎えることとなる。また、少子高齢化等の社会情勢変化により今後、公共事業予算の大幅な増加が見込めないことから、アセットマネジメントの考えを基本に戦略的維持管理を行い、安全・安心な道路橋を持続的に供するため、平成26年3月に『橋の長寿命化修繕計画』を策定し、この計画に沿った点検・補修を進めることとした。

計画策定を行った背景には、平成24年12月に発生した中央自動車道笹子トンネル天井版崩落事故が契機となり、社会インフラの老朽化が確実に進んでいる現実に改めて警鐘が鳴らされ、定期点検と維持管理の重要性を再認識されたこと。このことにより道路法が改正され、橋梁をはじめトンネルやシェッド・大型カルバートなどの道路構造物に対する定期的な点検の義務化と、さらにその結果を反映した維持管理計画のもとで、効率的な維持管理を行うことが、道路管理者に課せられたことによるものである。

この『橋の長寿命化修繕計画』については、平成26年3月版に基づいた点検・補修の実績から、令和2年3月に一度改正しており、さらに今回、最新の点検結果・補修実績の反映や、新しい知見を踏まえ、計画の見直しを行うものである。

1) 背景

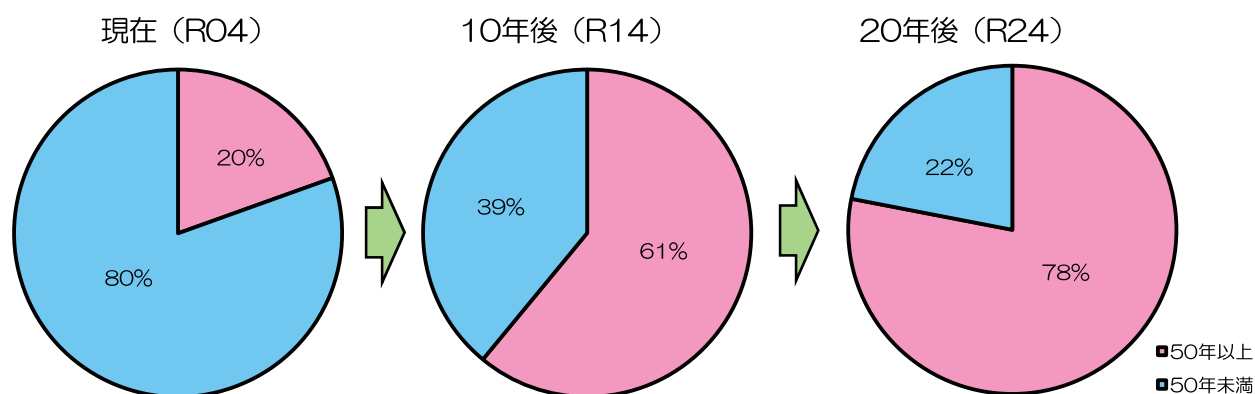
富士川町の道路網は、町の東端を南北に通る国道52号および県道韮崎南アルプス富士川線が軸となり、この国県道から分岐して、県道十谷鬼島線、平林青柳線および高下鰍沢線の3路線が町の西側の中山間地域の集落と東側市街地を結んでいます。

富士川町道は、これらの国県道から分岐しており、この町道上に一級河川富士川およびその支流である大柳川、戸川などの中小河川を渡河する橋が点在しています。

富士川町で管理する橋は、令和4年3月現在で159橋あります。

建設年次が判明している橋のうち、昭和46年までに建設され、既に建設後50年以上を経過した橋は既に2割を占めており、10年後には6割を超え、20年後には実に約8割の橋が建設後50年以上経過することとなります。

一般に橋の耐用年数は50年から60年程度であることから、傷みがひどくなってから修繕工事を行うといった、これまでのような対症療法的な維持管理を続けた場合、橋の修繕工事や架替え工事に関する費用が、急激に増加していくことが予想されます。

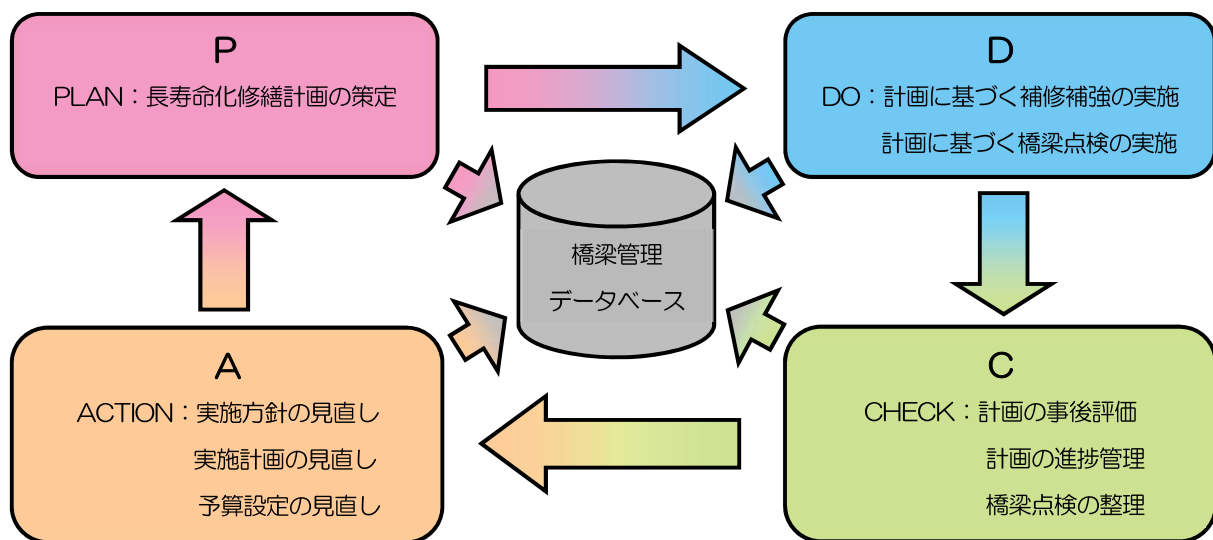


2) 目的

このような背景から、限られた予算の中でより効率的に橋を維持していく取り組みが必要となっています。

そこで富士川町では、アセットマネジメント手法^{※1}の導入により、従来の対症療法型（事後保全型）管理^{※2}から予防保全型（長寿命化型）管理^{※3}へと管理手法を転換することにより、コストの縮減を図りながら、橋の健全性の低下を防止し寿命を延ばすことで、安全性・信頼性を確保した道路サービスを恒久的に提供するために、橋の長寿命化修繕計画を策定することとしました。

以下に、今後の橋の管理方法についてのPDCAサイクルを示します。



※1…アセットマネジメント手法

道路橋を資産として捉え、その資産の状態を定量的に把握・評価して、中長期的な予測を行い、限られた予算制約の中で、求めるサービス水準を確保するために、いつどのような対策を行うのが最適であるかということを決め実施していく総合的な管理手法。

※2…対症療法型（事後保全型）管理

損傷が甚大になってから、対症療法的に対策を実施する管理手法。

※3…予防保全型（長寿命化型）管理

損傷が軽微なうちに、予防的措置を含めて対策を実施する管理手法。橋の長寿命化が図れる。

2. 長寿命化修繕計画の対象となる橋

1) 対象となる橋の選定方針

計画の対象となる橋は、原則として富士川町で管理している159橋全てとします。

2) 対象となる橋の数

計画の対象となる橋の数を、町道等級別に示します。

	町道1級	町道2級	町道その他	合計
管理している橋の数	16	47	96	159
うち計画の対象となる橋の数	16	47	96	159
うちこれまでの計画策定済みの橋の数	16	47	96	159

3) 対象となる橋の例

計画の対象となる橋の例を、写真で示します。

なお、表紙の鹿島橋も対象となる橋です。



五柳橋



開柳橋&開柳橋歩道橋



上北橋



旭橋



西之入橋



小室道橋



観音橋



坪川橋



赤石橋

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握に関する基本的な方針

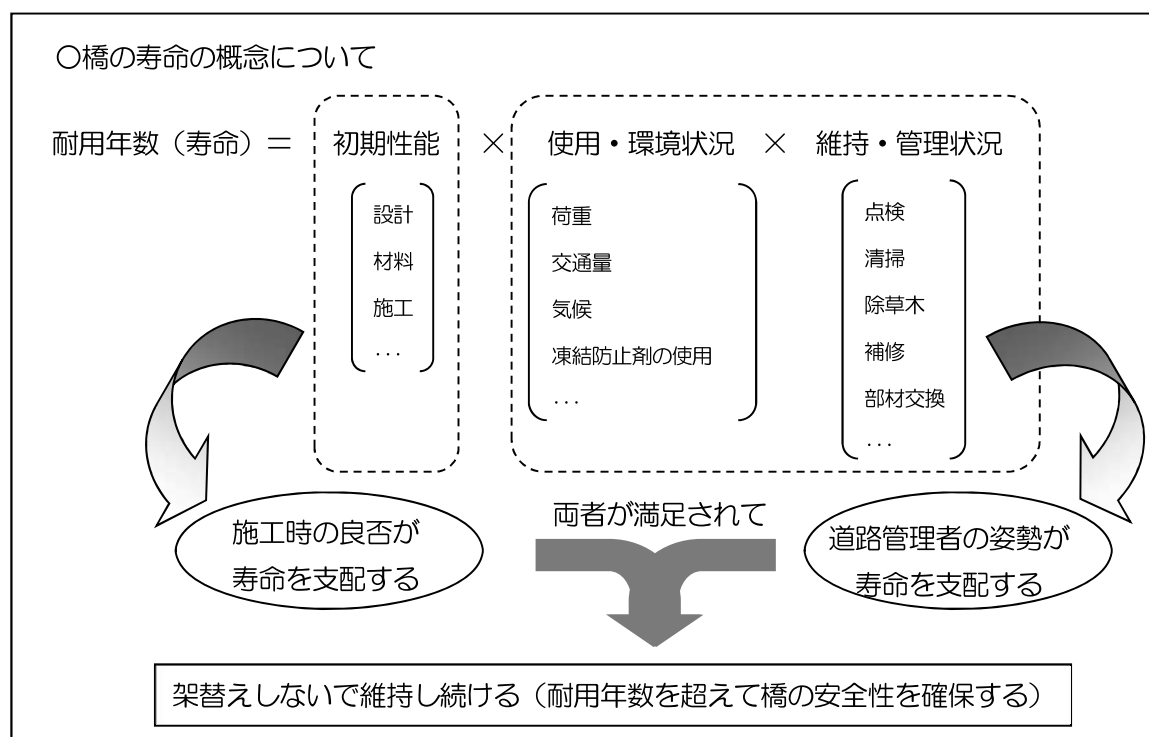
富士川町では、町で管理している159橋全てについて、平成27年度から平成30年度にかけて1巡目の定期点検を実施し、令和2年度からは2巡目の定期点検を実施しています。

今後も引き続き、町職員による日常点検と専門家による定期点検を5年に1回の頻度で実施し、適切な維持管理・補修データを蓄積することにより、橋の長寿命化への取り組みを充実させていくこととします。



点検車による点検実施状況（鹿島橋）

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針



橋の長寿命化とは、50年から60年という一般的な耐用年数（寿命）を超えても長期的に橋の安全性を確保しながら維持管理していくことです。橋の寿命には、「初期性能」、「使用・環境状況」および「維持・管理状況」の3つの要素が相互に影響します。初期性能は建設当初で決まっていますが、残り2つの要素は維持管理の仕方によって寿命が支配されます。

そこで、富士川町においては以下に示す維持管理方針をとることとします。

- 日頃のメンテナンスを繰り返すことによって、劣化の進行速度を抑え、長期的な健全性の確保につなげることにします。
- 具体的な重点対策として、橋の端部や排水ますなどに溜まった土砂の詰りを小まめに処理することとします。

4. 対象となる橋の長寿命化及び架替え・修繕に係る費用の縮減に関する基本的な方針

1) 架替え・修繕の違いについて

架替え・修繕は、架替え、補強、補修および維持の4種類に大別できます。

① 架替え

落橋の恐れがあるほどの構造上致命的な損傷がある場合や、道路幅員を拡げる、河川断面を拡げるなどの利便性や機能性を向上させたい場合は、架替えが行われます。

② 補強

主に耐震補強が該当します。橋に関する基準は、「道路橋示方書・同解説」を例にとると、平成24年度版が最新の基準となっています。したがって、過去の基準（特に昭和55年以前）で建設された橋は、現在想定されている最大級の地震発生時に使用不可となる可能性があるため、現行の基準に対応させることを目的に行われるのが補強です。

③ 補修

橋に生じた損傷を直し、もとの機能に回復させること目的とした措置をいいます。



④ 維持

橋の機能を保持するため、日常計画的に反復して行われる清掃などの措置をいいます。



2) 橋の長寿命化及び架替え・修繕に係る費用の縮減に関する基本的な方針

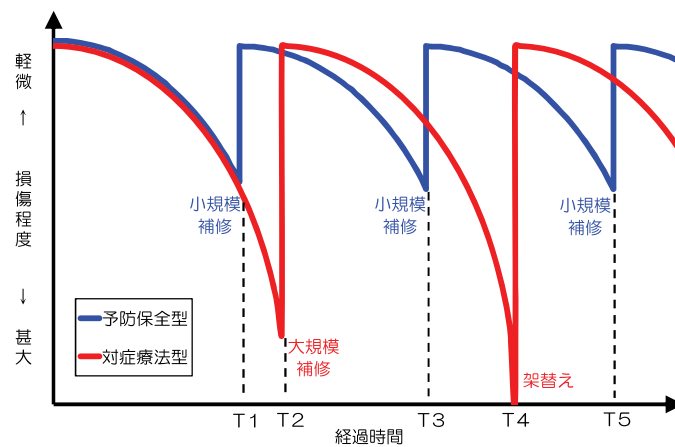
各々の橋に対し、以下に示す2つのシナリオで100年間のライフサイクルコスト※を算出し、比較検討した結果、より経済的であるシナリオを、その橋の最適シナリオとします。

① 予防保全型（長寿命化型）管理

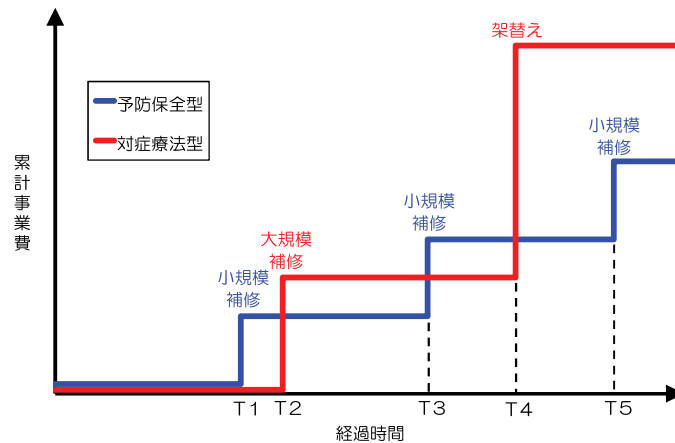
損傷程度が軽微なうちに、予防的措置を含めて対策を実施します。この場合、架替えの時期に達しても架替えを行うような損傷は生じていないため、今後100年間は維持し続けます。

② 対症療法型（事後保全型）管理

損傷程度が甚大になってから、対症療法的に対策を実施します。この場合、架替えの時期に達したら架替えを行います。架替え後についても、損傷が甚大になってから対症療法的に対策を実施します。



シナリオイメージ（損傷程度）



シナリオイメージ（累積事業費）

本町では、上記のシナリオイメージからわかるように、橋の長寿命化と累積事業費の削減を図るため、予防保全型（長寿命型）管理を基本とし、原則として、最適シナリオが対症療法型となった場合は架替えを行う橋とし、予防保全型となった場合は原則として架替えは行わず維持管理していく方針とします。

※…ライフサイクルコスト：残存供用期間中に必要となるトータルコスト

3) 新技術等の活用方針

① 点検に係る新技術等の活用方針

橋の定期点検において、新技術等の活用によりコスト縮減や技術者の負担軽減を図ることが期待されており、国土交通省では新技術等の活用促進を図る一助として「点検支援技術性能カタログ」を公表しています。例えば、2022年9月版では、橋の点検技術としては画像計測が47技術、非破壊検査が23技術、計測・モニタリングが44技術、データ収集・通信が3技術の計117技術が紹介されています。

これらの点検支援技術の中には、点検ロボットやドローンに代表されるように、梯子や橋梁点検車もしくは高所作業車といった汎用的な手法では通常の近接目視点検レベルの作業が不可能な場合に活用することが考えられます。

したがいまして、本町では点検計画に基づく全ての橋の定期点検実施前には、必ず新技術等活用に係る検討を行い、活用が合理的であると判断した場合は、積極的に活用していくこととします。

ここで、本町で実施した定期点検における新技術活用事例を一例紹介します。

下の写真は、「車両設置幅1.8mの道路施設点検車（NETIS登録番号：HR-200003-A）」を活用した例です。活用対象となった橋は「開柳橋歩道橋」で、有効幅員が2.0mと狭隘なため、一般的な橋梁点検車の乗り入れが不可能でした。このことに対し、乗り入れ可能な点検車として、この「道路施設点検車」を採用し、点検を実施しました。



新技術活用事例（車両設置幅1.8mの道路施設点検車）

② 補修に係る新技術等の活用方針

標準的な補修工法（ex.コンクリート橋：ひびわれ→樹脂注入、剥離・鉄筋露出→断面修復、鋼橋：腐食・防食機能の劣化→Rc-1塗装系に塗替え）のメニューそのものは変わりませんが、品質がより優れ、かつ経済的にも有利な新技術の開発が進んでおり、既に適用実績が積み重ねられています。

国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）では、有用な新技術リストを公表しています。例えば、令和4年11月10日版では、222技術が登録されており、これらの中で「橋梁補修補強工」に分類されている新技術は30技術あります。

次ページの表はその30技術の中から、コンクリート部材が対象の断面修復、ひびわれ補修、表面含浸およびはく落防止の新技術を、鋼部材が対象の塗膜除去の新技術をさらに抽出しました。

有用な新技術一覧（令和4年11月10日現在）(NETIS工種分類：「橋梁補修補強工」より抽出)

番号	登録番号	技術名称	技術概要(副題)	技術の位置づけ (有用な技術名称)	従来工法 (参考)	期待される効果(申請情報より抜粋)
27	CB-120013-VR	ハイブリッド形表面被覆材アロンポコートZ-X-Z-Y工法	本工法は、工程短縮・品質向上・施工性にこだわって開発した材料「セメント系無機硬化剤を主とし、アクリルコートを連合を用いる、コンクリート表面保護工法の新工法」。	[活用促進]	エポキシ樹脂系表面被覆材を用いた剥落防止工法	・塩分や二酸化炭素、水の浸透性があるため、塩害、中性化、アルカリ骨材反応による劣化の進行抑制が期待できる。また、ひび割れ浸透性が非常に優れているため、コンクリート構造物の耐久性能向上も期待できる。 ・施工の履歴性と工期短縮が可能となった。 ・塗材材量より長期間の施工時の社会環境を改善する。
55	KT-130009-VR	シリケートガード	コンクリート表面の緻密化により劣化を抑制し耐摩耗性を向上させる「シリケート系表面被覆剤」。	[活用促進]	液性の「シリケート系表面被覆剤」。	・施工時に反応促進剤を配合する2液性のタイプに変えたことにより、反応性が向上し、1回の塗布回数で施工できるため、施工性が良くなり、工期の短縮が図られる。 ・施工時に反応促進剤を配合する2液性のタイプに変えたことにより、反応性が向上し、軟水養生が不要となるため、施工性が良くなり、工期の短縮が図られる。 ・施工時に反応促進剤を配合する2液性のタイプに変えたことにより、摩耗抑制率が向上し、コンクリートの耐摩耗性が向上するため、耐久性能が向上する。
78	KT-150081-VR	EPP(エコーポイント・ベレーン)工法	水性塗膜剥離剤による塗膜の剥離工法	[活用促進]	プラスト工法	・塗膜除去作業は手作業で行うため、作業時の騒音が小さく、周辺環境への影響が抑制される。 ・塗膜は、粘土に近い状態が制御されるため、回収が容易である。また、発生する産業廃棄物は、経路が明確に分離される。
80	QS-150017-VR	コンクリート構造物の断面修復材「コムラテンリズ」	プレミクスター型超速硬化リマーマセメントモルタル・コンクリート	[活用促進]	超速硬化コンクリート	・損傷箇所に適した材料の選択が現場で可能である。 ・超速硬化リマーマセメントモルタルまたは超速硬化リマーマセメントコンクリートに変えたことにより、乾燥収縮が小さいため、ひび割れが発生しにくい。 ・超速硬化リマーマセメントモルタルまたは超速硬化リマーマセメントコンクリートに変えたことにより、付着性能に優れるため、既設被覆材との一体化を図ることができる。 ・超速硬化リマーマセメントモルタルまたは超速硬化リマーマセメントコンクリートに変えたことにより、中性化・塩害等の劣化因子に対し、耐久性が期待できる。 ・従来は、損傷が軽微であっても鉄筋下5cmまでは鉄筋下5cmまでのコンクリートは、コンクリートの養生が必要であったが、本技術は、モルタルの場合、損傷部分のみはコンクリートで養生し、コンクリートの養生が不要となるため、養生期間の短縮が期待できる。 ・モルタルから小型機まで施工可能により、施工条件や現場条件に応じて機種を選定できるため、施工性の向上が期待できる。 ・大型機から小型機まで施工可能により、養生期間の短縮が期待できる。
81	QS-150032-VE	循環式ハイブリッドプラストシステム	研削材の再利用および設備の車載対応可能なプラスト工法	[活用促進]	エアープラスト(加圧式)	・研削材の循環式機能を実用化したことにより、産業廃棄物の排出量を低減できるため、経済性の向上および環境負荷低減が期待できる。 ・プラストの循環式機能を実用化したことにより、産業廃棄物の排出量を低減できるため、経済性の向上および環境負荷低減が期待できる。 ・大型機から小型機まで施工可能により、施工条件や現場条件に応じて機種を選定できるため、施工性の向上が期待できる。 ・特殊な形状のプラストを配合してコンクリートに硬化させることで、強度や耐久性を向上させることができる。 ・特殊な形状のプラストを配合してコンクリートに硬化させることで、強度や耐久性を向上させることができる。
84	KT-120082-VR	ワンステップガード工法	短繊維重合樹脂によるコンクリート片はく剥離防止対策工法	[活用促進]	繊維シート接着工法	・特殊な形状のプラストを配合してコンクリートに硬化させることで、強度や耐久性を向上させることができる。 ・特殊な形状のプラストを配合してコンクリートに硬化させることで、強度や耐久性を向上させることができる。
86	SK-140006-VR	コンクリート剥落防止対策ネット工法	メッシュシート(スマートメッシュ)によるコンクリート片の剥落防止対策工法	[活用促進]	はつり工・断面修復工法	・経済性アンカー固定による迅速な施工が可能で、緊急対応や夜間工事などに最適です。ネットの加工はハサミで切断が図れます。 ・施工性アンカー固定による迅速な施工が可能で、緊急対応や夜間工事などに最適です。ネットの加工はハサミで切断が図れます。 ・耐久性メッシュシートは高強度繊維を配合してコンクリートに硬化させることで、強度や耐久性を向上させることができる。 ・はつり工・断面修復工法は高強度繊維を配合してコンクリートに硬化させることで、強度や耐久性を向上させることができる。 ・剥落防止性能試験結果は、重量1.2KN以上を保持するに十分な強度を有しています。 ・剥落防止性能試験結果は、重量1.2KN以上を保持するに十分な強度を有しています。 ・剥落防止性能試験結果は、重量1.2KN以上を保持するに十分な強度を有しています。 ・剥落防止性能試験結果は、重量1.2KN以上を保持するに十分な強度を有しています。
89	CG-120025-VR	超薄膜スケルトンはく剥防止対策ネット工法	透明特殊コーティング材とガラス繊維織物による剥離防止対策工法	[活用促進]	ピロニ繊維シート工法	・透明特殊コーティング材とガラス繊維織物による剥離防止対策工法。 ・透明特殊コーティング材とガラス繊維織物による剥離防止対策工法。 ・透明特殊コーティング材とガラス繊維織物による剥離防止対策工法。 ・透明特殊コーティング材とガラス繊維織物による剥離防止対策工法。
187	KT-120057-VE	ショーポイントCAP工法	ひび割れの表面に塗布するだけで、内部に浸透し接着するひび割れ補修工法	[活用促進]	注入器具によるひび割れ注入工	・浸透性の高いものに塗布することにより、注入作業はひび割れ表面への塗布となりシール材が必要となるため、材料費が低減される。 ・浸透性の高いものに塗布することにより、注入作業はひび割れ表面への塗布となりシール材が必要となるため、材料費が低減される。 ・浸透性の高いものに塗布することにより、注入作業はひび割れ表面への塗布となりシール材が必要となるため、材料費が低減される。 ・浸透性の高いものに塗布することにより、注入作業はひび割れ表面への塗布となりシール材が必要となるため、材料費が低減される。

③ 新技術等の活用方針とその目標

本町における新技術等の活用方針とその目標は、以下の通りとします。

【活用方針】

富士川町は、補修工事等の事業に対し、高品質で経済的に有用な補修工法の新技術等を活用していく方針とし、設計および施工段階において、委託業者や施工業者といった民間からの更なる新技術等活用に係る技術提案を積極的に促していくこととします。

また、点検計画に基づく全ての橋梁の定期点検実施前には、必ず新技術等活用に係る検討を行い、活用が合理的であると判断した場合は、積極的に活用していくこととします。

【活用目標】

計画期間（10年間）中に実施される補修事業および定期点検においては、1割以上の橋でコスト縮減等の効果を有する新技術等の活用を目指し、1件当たりのコスト縮減率7%を目指します。



活用が期待される新技術の例（写真左：点検ロボット 写真右：ドローン）

4) 費用の縮減に関する具体的な方針

① 橋の集約化・撤去、機能縮小などによる費用の縮減に関する方針

橋の老朽化は進展し続けています。一方で、土地利用状況の変化や周辺人口の減少、道路網の整備等により、建設当時と比べ利用者が著しく減少している橋もあります。

本町の橋の中にも、こうした実情により、そのまま橋を長期的に維持し続けるのではなく、撤去や集約化および機能縮小などを行うことで、一時的な費用負担が生じたとしても、その後の維持管理・更新費用が大幅に少なくなり、トータルコスト的には費用の縮減を図ることが可能となる橋も存在するものと思われます。

この考え方についての概要をまとめると以下の通りとなります。

<参考：集約・撤去の考え方>

老朽化等により現橋の継続利用が困難な場合において、今後も同等以上の機能が必要な橋梁は「架替」を実施し、周辺環境の変化等により役割を終えている橋梁は「単純撤去」を実施することが考えられる。

一方、それらの中間として、同じ機能で作り直すほどではないが何らかの機能の保持が求められる橋梁は、「迂回路の機能を充実させる（撤去+迂回路整備）」、「機能を低下させる（ダウンサイジング）」、「架替橋梁を集約する（複数橋梁の集約）」等も選択肢となることが考えられる。

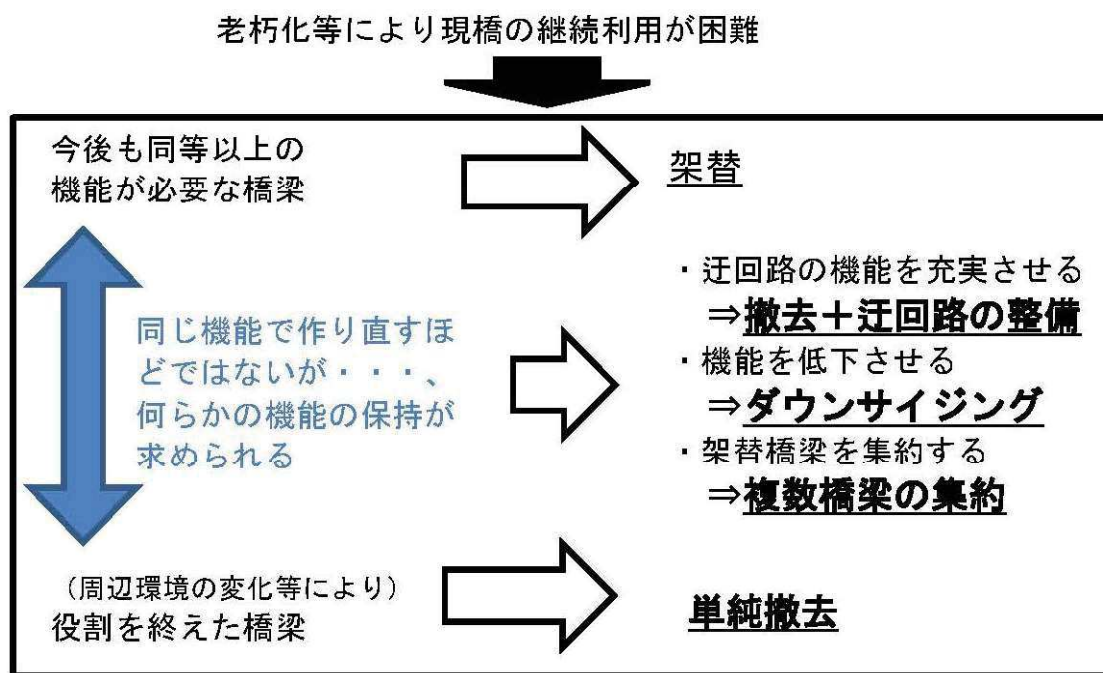


図 2-9 集約・撤去の考え方

(出典：「道路橋の集約・撤去事例集 令和4年3月 国土交通省道路局」P.9)

基本的に集約・撤去等の対象候補となる橋の要件としては、橋の老朽化が進んでいること（特に健全性の判定区分Ⅳの場合）となります。

本町の場合、管理している159橋の全てが、現時点で健全性の判定区分ⅠもしくはⅡであって、健全性の判定区分ⅣもしくはⅢと診断された健全性の低い橋は1橋もありません。したがって、喫緊に「継続維持」か「集約・撤去」かの選択を迫られている橋は1橋もありません。

ただし、建設当時と比べ利用者（交通量）が著しく減っている（特にほぼゼロに等しい場合）は現に存在し、現時点で健全性が高いとしても、将来的には必ず老朽化は進展することになります。したがって、これらの橋については、今後は定期点検のみ実施し、予防保全的に長寿命化を図る対策は実施せず、老朽化により健全性の判定区分がⅢへと進展する兆候がみられた時点で、利用者・住民との合意形成を図る準備（合意形成期間の確保）を行い、健全性の判定区分がⅢとなった時点で（Ⅳに至る前に）「単純撤去」を選択する方針とします。

管理橋梁全て対象に検討を重ねた結果、以下に示す橋が現時点で考えられる将来的な「単純撤去」の候補となりました。なお、他の町管理橋梁についても、老朽化の進展や利用者が著しく減少した橋については、対象候補として、長寿命化修繕計画の改訂ごとに検討を繰り返すこととします。

単純撤去候補を選定した結果、「南沢1の橋」につきましては、今後は定期点検のみ実施する計画へと変更となるため、計画期間（10年間）中に予定すべき維持修繕事業（概ね350万円）が不要となり、費用の縮減効果に繋がります。



南沢1の橋
（利用者がほぼゼロに等しい）

5. 対象となる橋の耐震補強に関する基本的な方針

優先度評価指標（交差条件、町道等級および迂回路の有無（孤立集落発生防止）など）に基づいて設定された優先順位にしたがい、予算規模に応じて修繕工事を順次実施していく計画とします。

計画の対象となる橋を長寿命化型管理により寿命を延ばす（今後100年間維持し続ける）ということは、必然的に供用期間中に「東海地震」をはじめとする大規模地震の影響を受ける可能性が非常に高くなるということを意味します。

そこで富士川町では、住民の安全・安心を確保するため、優先度の高い迂回路の無い橋、緊急避難所もしくは避難地等への経路となる道路上の橋、1級町道上の橋および長さ15m以上の橋のうち、現行基準の耐震性能を満足していない橋について、耐震補強を実施します。なお、耐震補強は、現時点で確認されている健全性の判定区分Ⅱの損傷に対する対策と同時進行していく計画としますが、今後の定期点検の結果、健全性の判定区分ⅢもしくはⅣの損傷を有する橋が出現した場合は、この著しい損傷に対する対策を最優先で完了させる計画へと修正します。

山梨県内で想定される地震一覧表

想定される地震	今後30年以内の発生確率	富士川町への影響
東海地震	88%	甚大
南関東直下プレート境界地震 （現在は首都直下型地震 [※] ）	70%	中
釜無川断層地震	不詳	大
藤の木愛川断層地震	不詳	中
曾根丘陵断層地震	不詳	中
糸魚川－静岡構造線地震	14%	大



想定地震の震源域

6. 橋梁長寿命化修繕計画による実績

平成26年3月版「橋の長寿命化修繕計画」および、その後改訂された令和2年3月版「橋の長寿命化修繕計画」に基づく現在までの対策実績を示します。

実施/計画	計画年度	橋梁名	内容	橋の数
実施済	平成 26 年度	(工事に必要な設計のみ)		0 橋
	平成 27 年度	(工事に必要な設計のみ)		0 橋
	平成 28 年度	007 遠田1の橋	補修工事	15 橋
		026 南山橋	補修工事	
		027 三本木橋	補修工事	
		130 桃の木橋	補修工事	
		024 蟹沢橋	補修工事	
		011 天王橋	補修工事	
		037 妙切上橋	補修工事	
		039 滝見橋	補修工事	
		021 湯之沢橋	補修工事	
		093 柳沢橋	補修工事	
		098 暁橋	補修工事	
		229 両久保橋	補修工事	
		108 道利川橋	補修工事	
		245 不動橋	補修工事	
	227 松山橋	補修工事		
	平成 29 年度	244 下の沢橋	補修工事	8 橋
		086 御崎橋	補修工事	
		075 唐沢川1の橋	補修工事	
		061 平池橋	補修工事	
		243 中の沢橋	補修工事	
		238 白子沢橋	補修工事	
		239 西沢橋	補修工事	
		249 中田橋	補修工事	
	平成 30 年度	223 大沢橋	補修工事	1 橋
	平成 31 年度 (令和 元 年度)	107 森の沢橋	補修工事	2 橋
065 境橋		補修工事		
令和 2 年度	201 開柳橋	補修工事	1 橋	
令和 3 年度	(予算の都合で実施なし)		0 橋	

7. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

計画期間（今後10年間：令和5年度から令和14年度）の修繕（耐震補強、損傷補修および維持修繕）および定期点検予定の橋の概要は、以下の通りです。

今後10年間の修繕および点検予定

計画年度	修繕予定の主な橋 もしくは修繕内容		定期点検予定の 橋の数
令和5年度	維持修繕工事	28橋	40橋
令和6年度	福祉橋ほか	2橋	—
令和7年度	直路沢橋ほか	2橋	68橋
令和8年度	上七尾橋ほか	2橋	17橋
令和9年度	大久保橋ほか	3橋	35橋
令和10年度	滝見橋ほか	2橋	40橋
令和11年度	西之入橋ほか	2橋	—
令和12年度	御崎橋ほか	2橋	68橋
令和13年度	洞畑橋ほか	2橋	17橋
令和14年度	森の沢橋ほか	2橋	35橋

※社会情勢の変化や最新の点検結果などにより変更される場合があります。

また、次ページ以降に、橋梁ごとの計画期間（今後10年間：令和5年度から令和14年度）における次回点検時期および修繕内容（耐震補強、損傷補修および維持修繕）・時期の予定を示します。

橋梁ごとの計画期間（今後10年間：令和5年度から令和14年度）における定期点検および修繕等の予定表

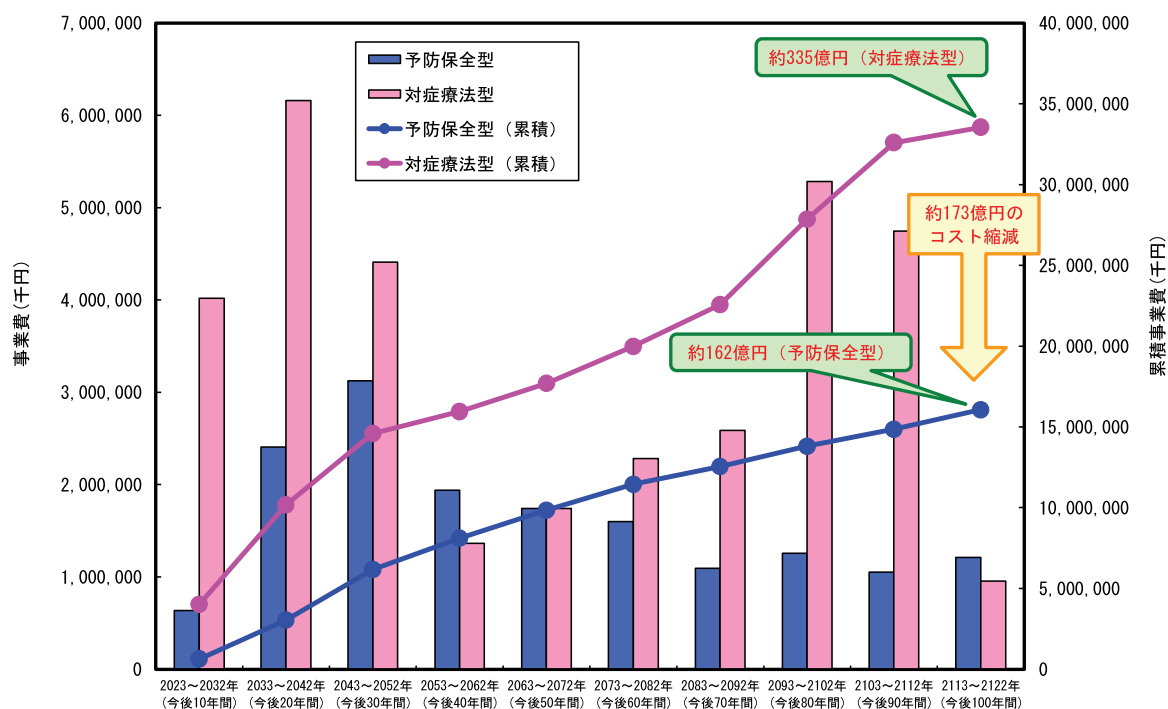
橋梁 番号	橋梁名称	路線名	架設年	橋長 (m)	幅員 (m)	橋梁の 種類	所在地	定期点検結果 年度 判定 区分	対策の内容・時期（耐震補強を実施する際、損傷補修も同時に行う予定とします）										
									R05年度 (2023)	R06年度 (2024)	R07年度 (2025)	R08年度 (2026)	R09年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)	R12年度 (2030)	R13年度 (2031)	R14年度 (2032)	
066	延命橋	長沢青柳線	S49	8.1	5.2	PC橋	富士川町長沢	R07 I				点検					点検		
067	神ノ木橋	小林1号線	H09	12.1	6.1	PC橋	富士川町小林	R05 I	点検						点検				
068	竹重西橋	小林13号線	H10	8.8	4.4	PC橋	富士川町小林	R05 I	点検						点検				
069	下田1の橋	春米小林3号線	H10	9.7	3.0	PC橋	富士川町小林	R05 I	点検						点検				
070	遠田2の橋	春米8号線	不明	4.9	3.1	RC橋	富士川町春米	R07 II				点検					点検		
072	下田3の橋	春米9号線	S56	6.1	2.5	RC橋	富士川町春米	R05 I	点検						点検				
074	観音橋	最勝寺19号線	S48	48.1	3.0	鋼橋	富士川町最勝寺	R05 II	点検維持工事 748						点検				
075	唐沢川1の橋	戸川添2号線	S50	5.5	10.2	RC橋	富士川町最勝寺	R05 I	点検						点検				
076	馬門橋	馬門4号線	S41	20.0	2.7	PC橋	富士川町最勝寺	R04 II	維持工事 692					点検					点検
077	洞畑橋	畔沢川添2号線	S42	11.5	2.1	鋼橋	富士川町最勝寺	R04 II						点検			損傷設計 8.112	損傷工事 床板補修 232	点検
078	赤子沢橋	畔沢川添2号線	S58	19.5	3.0	鋼橋	富士川町最勝寺	R05 II	点検維持工事 160						点検				
079	寺尾橋	寺尾馬門線	不明	4.0	4.5	RC橋	富士川町最勝寺	R07 I				点検					点検		
080	芦沢川2の橋	寺尾馬門線	不明	6.4	4.0	RC橋	富士川町最勝寺	R07 I				点検					点検		
081	唐沢川3の橋	寺尾馬門線	S51	4.3	4.5	RC橋	富士川町最勝寺	R07 I				点検					点検		
082	唐沢川2の橋	神明線	S50	6.4	5.1	RC橋	富士川町最勝寺	R05 I	点検						点検				
083	芦沢川1の橋	最勝寺西の入線	S61	6.1	5.0	RC橋	富士川町最勝寺	R05 I	点検						点検				
084	神明橋	最勝寺西の入線	S51	43.3	5.0	鋼橋	富士川町最勝寺	R04 II						点検					点検
085	平野橋	最勝寺大久保線	S52	27.6	3.0	鋼橋	富士川町最勝寺	R05 II	点検維持工事 168						点検				
086	御崎橋	大久保2号線	S37	16.0	3.0	PC橋	富士川町大久保	R03 II				点検				耐震設計 15.888	耐震工事 支承補修 8.420	点検	
087	御房橋	春米大久保線	S59	7.0	3.5	RC橋	富士川町春米	R05 I	点検						点検				
088	御幸橋	春米川久保1号線	S61	14.5	3.5	鋼橋	富士川町春米	R05 II	点検維持工事 160						点検				
089	第2御幸橋	春米川久保1号線	S38	17.2	3.0	PC橋	富士川町春米	R05 III	点検	損傷工事 支承補修 979				点検			耐震設計 支承補修 14.088	耐震工事 支承補修 14.480	
090	川久保橋	春米川久保2号線	S39	18.5	2.0	鋼橋	富士川町春米	R05 II	点検						点検				耐震設計 13.740
092	下七尾橋	下七尾線	S58	31.0	4.0	PC橋	富士川町小室	R04 II						点検					点検
093	柳沢橋	下七尾線	S42	11.0	3.9	鋼橋	富士川町小室	R05 II	点検維持工事 140						点検				
094	南沢2の橋	泊平矢川11号線	S56	13.4	4.2	RC橋	富士川町小室	R05 I	点検						点検				
097	南沢1の橋	泊平線	S56	10.5	2.1	RC橋	富士川町小室	R05 I	点検						点検				
098	暁橋	矢川檢平1号線	S41	7.6	2.5	RC橋	富士川町小室	R05 II	点検維持工事 108						点検				
099	上高下南橋	上高下2号線	不明	2.2	3.0	RC橋	富士川町高下	R07 I				点検					点検		
100	中河原3の橋	西田天神線	S57	6.9	4.2	RC橋	富士川町小室	R05 I	点検						点検				
102	峯沢橋	広表1号線	S41	4.8	4.9	RC橋	富士川町小室	R07 I				点検					点検		
103	横畠橋	上手北川線	S52	7.1	4.0	RC橋	富士川町小室	R05 I	点検						点検				
104	上手橋	上手北川線	H08	9.5	8.7	RC橋	富士川町小室	R05 I	点検						点検				
105	北川橋	北川線	H15	9.6	3.5	RC橋	富士川町小室	R05 I	点検						点検				
106	日恵堂橋	北川学校線	H11	9.2	5.0	RC橋	富士川町小室	R05 I	点検						点検				
107	森の沢橋	狩宿仙洞田線	S50	7.4	4.0	PC橋	富士川町高下	R05 I	点検						点検			損傷設計 4.608	損傷工事 橋台補修 25.580
108	道利川橋	狩宿仙洞田線	S47	11.0	4.0	鋼橋	富士川町高下	R05 III	点検	損傷工事 主桁補修 770				点検					
110	郷志川橋	土録2号線	S56	2.8	4.0	RC橋	富士川町小室	R07 I				点検					点検		
111	大櫛北橋	長沢4号線	S62	4.2	11.6	RC橋	富士川町大櫛	R05 II	点検						点検				
112	上殿原橋	殿原4号線	S51	4.1	2.7	RC橋	富士川町最勝寺	R07 I				点検					点検		
113	新東橋	長沢34号線	S50	12.3	4.0	鋼橋	富士川町長沢	R05 II	点検						点検				
114	北唐沢橋	殿原1号線	H11	10.0	10.0	PC橋	富士川町最勝寺	R05 I	点検						点検				
115	南唐沢橋	殿原1号線	H11	7.3	10.0	RC橋	富士川町最勝寺	R05 I	点検						点検				
116	中沢1の橋	小林19号線	不明	4.6	4.0	C-BOX	富士川町小林	R07 I				点検					点検		
117	中沢南橋	工業団地1号線	H09	11.8	4.0	PC橋	富士川町小林	R05 I	点検						点検				
118	長沢橋	長沢青柳線側道	H09	12.0	3.5	PC橋	富士川町小林	R05 I	点検						点検				
119	竹重東橋	小林3号線	H10	9.3	4.0	PC橋	富士川町小林	R05 I	点検						点検				
120	長沢境橋	長沢川添2号線	H09	14.0	2.5	PC橋	富士川町小林	R05 I	点検						点検				
121	荊沢境橋	長沢川添2号線	H09	14.0	1.5	鋼橋	富士川町小林	R05 I	点検						点検				
122	福祉橋	青柳長沢線	H07	15.0	16.4	PC橋	富士川町長沢	R04 I						点検					点検
123	長沢新東橋	青柳長沢線	H11	16.5	17.2	PC橋	富士川町長沢	R03 I					点検						点検
124	新東1の橋	長沢新東1号線	H10	3.9	9.0	C-BOX	富士川町長沢	R07 I				点検					点検		
125	北川3の橋	上手北川1号線	不明	6.6	5.2	RC橋	富士川町小室	R05 I	点検						点検				
126	二之橋	上手北川1号線	S34	7.5	5.5	RC橋	富士川町小室	R05 I	点検						点検				

橋梁ごとの計画期間（今後10年間：令和5年度から令和14年度）における定期点検および修繕等の予定表

橋梁 番号	橋梁名称	路線名	架設年	橋長 (m)	幅員 (m)	橋梁の 種類	所在地	定期点検結果 年度 判定 区分	対策の内容・時期（耐震補強を実施する際、損傷修繕も同時に行う予定とします）												
									R05年度 (2023)	R06年度 (2024)	R07年度 (2025)	R08年度 (2026)	R09年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)	R12年度 (2030)	R13年度 (2031)	R14年度 (2032)			
127	新東踊場橋	長沢新東15号線	H11	16.5	11.4	PC橋	富士川町長沢	R05	I	点検						点検					
128	中沢2の橋	長沢川添2号線	H05	9.2	3.0	RC橋	富士川町小林	R05	I	点検						点検					
129	北川2の橋	上手北川11号線	H12	9.8	5.0	RC橋	富士川町小室	R03	I				点検							点検	
130	桃の木橋	上高下1号線	S46	10.5	3.0	鋼橋	富士川町高下	R04	I						点検						点検
131	立石橋	上高下1号線	不明	5.8	3.0	RC橋	富士川町高下	R04	I						点検						点検
132	新甲子橋	平林伊奈ヶ湖線	H17	17.3	10.0	鋼橋	富士川町平林	R05	I	点検						点検					
133	高尾田橋	春米川久保2号線	不明	2.4	4.0	C-BOX	富士川町春米	R07	I			点検							点検		
134	新仙洞田橋	仙洞田1号線	R3	24.0	8.0	鋼橋	富士川町高下	R04	II						点検						点検
201	開柳橋	鳥屋大塩線	S46	56.0	4.0	鋼橋	富士川町柳川	R03	I				点検							点検	
202	直路沢橋	鳥屋大塩線	S60	32.0	5.0	鋼橋	富士川町柳川	R04	II						点検						点検
203	鹿島橋	鹿島落居線	H19	202.0	9.8	鋼橋	富士川町箱原	R03	I				点検								点検
204	新道橋	新道線	不明	3.7	3.3	RC橋	富士川町殿沢	R07	I			点検								点検	
205	平須井橋	十谷清水線	不明	2.5	4.6	RC橋	富士川町十谷	R07	II			点検								点検	
206	清水橋	十谷清水線	不明	6.1	4.6	RC橋	富士川町十谷	R04	I						点検						点検
207	本町東上橋	中田新道線	S47	7.6	5.5	PC橋	富士川町殿沢	R04	II	維持工事 88					点検						点検
208	小柳川橋	小柳川長知沢線	不明	5.1	4.2	RC橋	富士川町殿沢	R07	I			点検								点検	
209	上北橋	上北梅林線	不明	53.0	7.0	PC橋	富士川町殿沢	R04	III	維持工事 1,768	損傷設計 9,000	損傷工事 模桁補修 30,500			点検						点検
210	旭橋	旭町梅林線	S43	53.0	7.5	PC橋	富士川町殿沢	R04	II	維持工事 1,248					点検						点検
211	富士見橋	上南旭町線	不明	2.6	4.2	RC橋	富士川町殿沢	R07	I			点検								点検	
212	新地橋	新地坊の前線	S48	6.9	6.0	PC橋	富士川町殿沢	R04	II	維持工事 356					点検						点検
213	東川橋	新地新道線	不明	5.3	9.9	RC橋	富士川町殿沢	R04	I						点検						点検
214	保育所1号橋	新地保育所1号線	S58	8.0	3.5	PC橋	富士川町殿沢	R04	II	維持工事 248					点検						点検
217	本町東中橋	本町4号線	S51	7.6	4.0	鋼橋	富士川町殿沢	R04	II	維持工事 248					点検						点検
218	本町東下橋	本町4号線	S46	7.0	4.1	PC橋	富士川町殿沢	R04	I						点検						点検
223	大沢橋	国見平長知沢線	S52	15.4	6.0	鋼橋	富士川町長知沢	R03	I				点検								点検
225	鬼島橋	鬼島通学線	不明	8.4	4.5	C-BOX	富士川町殿沢	R07	I			点検								点検	
226	日向橋	日向町線	S52	4.1	3.1	RC橋	富士川町殿沢	R07	I			点検								点検	
227	松山橋	梅久保線	S46	8.4	3.5	鋼橋	富士川町殿沢	R04	I						点検						点検
228	和平橋	箱原11号線	H22	20.9	3.0	PC橋	富士川町箱原	R04	I						点検						点検
229	両久保橋	白沢久保線	S49	8.4	4.0	鋼橋	富士川町鳥屋	R04	II	維持工事 112					点検						点検
230	東沢橋	鳥屋上手線	不明	8.4	4.5	PC橋	富士川町鳥屋	R04	I						点検						点検
231	宿戸橋	宿戸線	不明	8.5	4.0	RC橋	富士川町鳥屋	R05	I	点検						点検					
232	宿戸中橋	宿戸線	不明	4.9	5.5	C-BOX	富士川町鳥屋	R07	I			点検								点検	
233	宿戸上橋	宿戸線	不明	7.2	2.2	鋼橋	富士川町鳥屋	R04	II	維持工事 400					点検						点検
234	里沢橋	里沢線	不明	12.0	6.0	PC橋	富士川町柳川	R04	I						点検						点検
235	桂沢橋	下河原線	不明	7.5	6.5	PC橋	富士川町柳川	R04	I						点検						点検
236	桂沢上橋	下河原線	不明	8.4	2.5	PC橋	富士川町柳川	R04	II						点検						点検
237	前山沢橋	柳川山王線	S63	13.5	5.0	PC橋	富士川町柳川	R04	II	維持工事 80					点検						点検
238	白子沢橋	前山太郎坊線	S55	4.0	4.1	RC橋	富士川町柳沢	R07	I			点検								点検	
239	西沢橋	十谷5号線	不明	7.5	1.9	鋼橋	富士川町十谷	R04	II						点検						点検
240	土沢橋	舟窪2号線	不明	3.0	7.0	鋼橋	富士川町鹿島	R07	I			点検								点検	
242	天白橋	駅前2丁目線	不明	9.5	8.7	RC橋	富士川町駅前通	R04	I				点検							点検	
243	中の沢橋	駅前新道線	不明	3.0	4.3	RC橋	富士川町駅前通	R07	I			点検								点検	
244	下の沢橋	駅前1号線	不明	5.4	2.9	鋼橋	富士川町駅前通	R04	II						点検耐震設計 12,576	耐震工事 支承補修 12,584					点検
245	不動橋	不動滝線	S34	14.3	4.5	RC橋	富士川町十谷	R04	II	維持工事 440					点検						点検
246	鬼島住宅橋	鬼島住宅線	H06	3.0	7.0	RC橋	富士川町殿沢	R07	I			点検								点検	
247	鳥屋宮沢橋	鳥屋上手線	H16	3.7	4.7	C-BOX	富士川町鳥屋	R07	II			点検								点検	
248	宿戸2号橋	鳥屋上手線	不明	9.5	4.5	PC橋	富士川町鳥屋	R04	I						点検						点検
249	中田橋	中田1号線	不明	10.0	12.0	PC橋	富士川町殿沢	R04	I						点検						点検
250	両久保2号橋	白沢線	不明	9.5	4.6	PC橋	富士川町鳥屋	R04	I						点検						点検
251	五柳橋	柳川古嶋線	H08	56.4	6.5	PC橋	富士川町鳥屋	R03	II				点検								点検
252	開柳歩道橋	鳥屋大塩線	S59	56.0	2.0	鋼橋	富士川町柳川	R03	I				点検								点検
253	水神沢橋	畔沢川添3号線	不明	4.2	6.4	RC橋	富士川町殿沢	R03	I			点検									点検
合計（設計費＋工事費＋点検費） 単位：千円										24,000	65,000	47,000	72,000	72,000	69,000	60,000	71,000	73,000	67,000		

8. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する159橋について、今後100年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型では約335億円が必要となるのに対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型では約162億円となります。したがって、約173億円（約52%）のコスト削減効果が見込まれます。また、損傷に起因する通行制限等が未然に防止され、ネットワークとしての道路機能の安全性・信頼性が確保されます。



9. 計画策定担当部署

富士川町 土木整備課

〒400-0592 山梨県南巨摩郡富士川町天神中條1134

TEL 0556-22-7203

10. 町民の皆様へのお願い

本計画を実現するためには、町民の皆様のご理解とご協力が必要です。今までも橋の損傷に関する通報（例えば路面が陥没している、防護柵が壊れている）などにより、その対応をしてきました。これがいわゆる「対症療法型」の対応になります。

これからは「予防保全型」の対応が必要となります。また、橋は町民共有の財産との認識をもっていただくと共に、町民の皆様と協働で橋の維持管理を進めていくために、今まで以上に橋の損傷、異常に関する情報提供や、可能な範囲での清掃などのご協力をお願いします。

